五感で楽しむ那須烏山

広報 なすからすやま

2022 December No.207 12

Nasukarasuyama City Public Relations

おせちで迎えるお正月

特集　とっておきのおせち料理……2
第22回全国障害者スポーツ大会……6
健康寿命を伸ばそう「ロコモ対策講演会」……7
第２回メグロキャノンボール……8
興野いきいきクラブが厚生労働大臣表彰……10
まちかどリポート・「からせん」の思い出……13
お知らせ……15
みんなの自慢の１枚・選挙ポスターコンクール…16

大切にしたい日本の伝統

とっておきのおせち料理

令和４年も間もなく終わりを迎えようとしています。一年の始まりであるお正月は、幸せや豊作をもたらす「年神様」を各家庭で迎える行事として、鏡餅やお雑煮、おせち料理を用意する習慣が根付いています。

ライフスタイルの多様化により、近年では、年末年始を自宅以外で過ごす人も増えていますが、来年は、年神様にお供えしたおせち料理を家族や身近な人と一緒に食べて、一年の幸せと健康を祈って、ゆっくり過ごしてみるのはいかがでしょうか。

今月の特集では、おせち料理の歴史やそれに込められた意味、地元の人に教わったレシピやリメイク術などを紹介します。

おせち料理の歴史は？

おせち料理の起源は諸説ありますが、平安時代と言われています。当時の人々は、宮中行事として季節の変わり目となる「節日（せちにち）」に収穫した作物を神様にお供えする「節会（せちえ）」という宴を開いていました。このときに振舞われていた「御節供（おせちく）」という料理が現在のおせち料理にあたるもので、「おせち」の語源となったとされています。

おせち料理がお正月に出されるものとして定着したのは、江戸時代と言われています。「節日」が幕府によって祝日と定められ、これが現在も呼ばれる「五節句」として豪華な料理が振舞われるようになりました。その中でも、最も重要であるとみなされていた新年を迎えるお正月に振舞われるものが「おせち料理」となり、お正月の定番として民衆の間で広まったとされています。

それぞれの料理に込められた意味

おせち料理の習慣が根付いた理由には、各家庭で料理を担っていた女性たちがお正月の3日間くらいは料理をしなくて済むようにという意味合いから、日持ちのする料理を準備したとの考えもあります。そのため、保存が効いて、かつ、縁起が良いとされる食材が中心になったと言われています。また、元旦に火を使った煮炊きをしないために、火を使わなくても食べられるものを用意していたそうです。

関東地方では、黒豆、数の子、田作り（ごまめとも呼ばれる）が祝い肴三種（写真1）として食べられていて、黒豆には「マメに働く、マメに暮らせる」、数の子には「子孫繁栄」、カタクチイワシの甘露煮である田作りには、「豊作祈願」の願いが込められています。この祝い肴三種とお餅がそろえばおせちの形として整い、お正月を迎えられるとされています。

そのほか一般的なのは、お煮しめ、なます、栗きんとん、紅白かまぼこ、伊達巻き、昆布巻きなど。これらの料理は四段重ねの重箱に詰め、食べるときに取り分けます。一番上の一の重には祝い肴三種、二の重には紅白かまぼこや栗きんとん、昆布巻きなど、三の重には海老や鯛など海の幸や焼き物を入れます。最後の四番目のお重は縁起が悪いとされる四ではなく与の重と呼び、お煮しめなど山の幸を入れるのが一般的です。

地方で個性が出るおせち料理

祝い肴三種は、関西地方では田作りの代わりに「たたきごぼう」を食べる家庭が多いそうです。魚料理では、関東や東北地方などでは鮭を食べることが多い一方、関西地方では、ブリを食べることが多いそうです。

お雑煮は、関東地方では焼いた角餅をしょうゆで味付けすることが多いそう。また、鶏肉を入れることも関東地方ならではのようです。関西地方では丸餅を焼かずに煮て、みそで味付けする家庭が多いそうです。

皆さんのご家庭のメニューはいかがでしょうか。慣れ親しんだおせちやお雑煮ももちろんですが、この機会に異なる地域の味を楽しんでみるのも良いかもしれませんね。

多様化するおせち料理

最近では、市販のおせちにローストビーフやスモークサーモンなどが入っているものも増えてきており、和洋折衷のおせち料理を楽しむ人が増えてきています。また、全て手作りで用意しなければならなかった昔とは異なり、現在では、コンビニエンスストアやインターネット通販などでも手軽に購入できるようになったことから、おせちを全て手作りしているというご家庭は少ないのではないでしょうか。

料理の種類や品数にこだわりすぎず、一年の始まりをのんびりと縁起良く過ごすための伝統的なおせち料理を、おいしく食べることがもっと大切なことかもしれません。

レシピも紹介

公民館講座で学ぶおせち

公民館講座「季節を味わう料理教室」にお邪魔し、調理の様子を取材してきました。

11月22日(火)に烏山南公民館で開催した教室のテーマは「かんたん おいしい 手作りおせち」。池田枝美子さん(上境)を講師に迎え、おせちの定番「伊達巻き」「菊花なます」「昆布巻き」などを、参加者10人が調理しました。

今回は、当日作ったメニューとそのレシピ、池田先生直伝のポイントを紹介します。

だて巻き

材料(1本分)

卵　6個
はんぺん　大1枚(120g)
砂糖　大さじ6(54g)
みりん　50cc
だし汁　50cc
醤油　小さじ2/3(4g)
サラダ油　大さじ1

＼Point／

◎ミキサーで簡単にできる

◎慌てず弱火でじっくり焼く

作り方

①はんぺんを1㎝角に切り、調味料を加え、ミキサーにかける。次に卵を入れてなめらかになるまでかける。

②フライパンに油を熱し、ぬれ布巾の上であら熱をとってから①を流し入れ、弱火で15分くらい蓋をして蒸し焼きにする。

③焼き上がったら、焼き色がついた方が下になるように巻きすの上に置いて巻く。(丸型フライパンのときは両サイドをカット。カットした部分を生地の中央に置き、芯にして巻く)巻いた両端を輪ゴムできつくとめてそのまま冷やす。

④冷めたら食べやすい大きさに切ったら、できあがり。

ちょっとした工夫で普段の料理も立派なおせちに

Interview

公民館講座料理教室講師
池田枝美子さん(上境)

我が家ではおせちとして、だて巻きやきんぴら、松前漬け、黒豆など、家族が好きなものやお酒のつまみになるものを中心に作っています。

おせちを一から手作りすることはとっても大変なので、お店で買ったものと簡単に手作りできるものを組み合わせることが良いと思います。また、料理に飾り切りにんじんなどを添えて見た目を工夫するだけでも、おせちの華やかさが格段に上がります。おせちのために手間暇をかけることも大切ですが、彩りや盛り付けなどちょっとした工夫次第で、普段の料理もおせちになると思います。

また、普段の食事作りでは、季節ごとの旬のものをいただくように意識しています。自宅の畑で採れた野菜や知り合いからいただいたものなど、家にあるものを組み合わせて料理をしています。色々な食材の組み合わせを試してみたり、余った料理のリメイクを考えてみたりすることも楽しいと思います。

昆布巻き

材料（５～６人分）

早煮昆布（乾燥）
　　35㎝物で12本
豚肉（薄切り）　12枚
にんじん　１本
ごぼう　１本
いんげん　８本
酢　大さじ１（15g）
酒　大さじ２（30g）
砂糖　70ｇ
醤油　80cc
水飴（または、みりん）適量
水

Point

◎かんぴょうなどで昆布を結ばなくて済むので簡単

◎いんげんを入れて彩りアップ

作り方

①水に昆布を入れ、５分程度戻す。
②ごぼう・にんじんは細切りにする。
③昆布を広げ、その上に豚肉・にんじん・ごぼう・いんげんを並べて巻いていく。
④鍋に昆布を並べて、昆布が隠れるくらい水を入れる。酢・酒・砂糖を入れて、昆布が柔らかくなるまで煮込み、アクを取り除く。
⑤醤油を加えてさらに煮込む。（味は好みで調整）
⑥最後に水飴（または、みりん）を入れて照りを出し、煮汁がなくなるまで煮込む。
⑦器に盛り付けてできあがり。

菊花なます

材料

大根　500ｇ
塩　15ｇ
ゆずの皮・鷹の爪　適量
だし昆布
にんじん（かざり花）
【甘酢】
酢　大さじ３（45ｇ）
みりん　大さじ1/2（9ｇ）
砂糖　大さじ1と1/2
　　（13.5ｇ）

Point

◎大根に細かく切り込みを入れることでカリカリ食感に

◎柚子を添えて旬の香りをプラス

作り方

①大根の皮をむき、厚さ２㎝の輪切りにする。
②割り箸で①の大根を挟み、縦横に細かい切り込みを入れる。２㎝角に切り離し、塩を入れ少しもみこむ。
③甘酢の材料を混ぜておく。
④大根から水が出てきたら、布巾で絞って水を切る。（形が崩れないように注意）
⑤甘酢を加えよく和え１日以上おく。器に菊の花のように盛り、ゆずの皮・鷹の爪を飾る。千切りにしただし昆布とにんじんのかざり花を添えたら、できあがり。

おせちでSDGs

地産地消　食品ロス削減

市内の直売所で新鮮野菜を購入し、地産地消でおせちの定番「お煮しめ」を作りました。お煮しめが余ってしまったときや味に飽きてしまったときは、ちょっと工夫すれば美味しく食べられます。手間をかけず、簡単にリメイクすることがポイントです。

地産地消で、かつ、食品ロスを抑えられれば、SDGsの12番目の目標「つくる責任つかう責任」の目標達成への貢献になります。皆さんも、地元の食材でおせちを作ってみませんか？

① 市内の直売所で新鮮野菜を購入

大根、人参、里芋、こんにゃく、さやいんげん

② おせちとして

市産の野菜を使ったお煮しめ

③ リメイク

カレールウと水を入れれば、簡単に和風カレーに変身！

お出汁がきいているのでごはんはもちろん、うどんやお正月に余ったお餅を入れるのもおすすめです！

第22回全国障害者スポーツ大会

いちご一会とちぎ大会

10月29日(土)～31日(月)に第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開かれ、県内各地で15競技が行われました。

本市では10月30日(日)、緑地運動公園を会場にアーチェリー競技が行われ、県内外から60人の選手が参加しました。弓の違いにより、「リカーブ」と「コンパウンド」の2部門があり、さらにそれぞれの部門で的までの距離が異なる「50m・30m」と「30mダブルラウンド」があります。1エンド(2分以内)に3本の矢を放ち、12エンドで1ラウンドとし、2ラウンドの合計72射で得点を争います。会場では、集中力を高めながら1射ごとに狙いを定める選手たちの姿が見られました。

◀狙いを定めて弓を引く選手

市民が大活躍！2人が金メダルに輝く

◀前列左から、酒井さん、関さん、川俣市長、石河さん
後列左から、須田さん、五月女さん、荒井さん、高田さん

卓球　酒井さんが優勝

鹿沼市のＴＫＣいちごアリーナ(鹿沼総合体育館)で開かれた卓球では、酒井恒夫さん(森田)が優勝を果たしました。酒井さんは、県内選手として金メダル第1号となりました。

ボッチャ　関さんが優勝

今大会から正式競技となったボッチャは、那須塩原市の三和住宅にしなすのスポーツプラザ(にしなすの運動公園)で行われ、関尚央さん(八ケ代)と大山智子さん(宇都宮市)ペアが優勝を果たしました。

バスケットボール　多賀さんが４位入賞

宇都宮市の日環アリーナ栃木(栃木県総合運動公園メインアリーナ)で行われたバスケットボールでは、多賀鈴花さん(鴻野山)が出場し、見事４位入賞を果たしました。

ソフトボール　石河さんが出場

大田原市の美原公園で行われたソフトボールでは、石河忠一さん(小倉)が出場しました。

バレーボール　高田さん、荒井さんが４位入賞

宇都宮市体育館で行われたバレーボールでは、高田龍希さん(曲畑)と荒井凜音さん(大金)が出場し、見事４位入賞を果たしました。

フットソフトボール　須田さん、五月女さんが第３位

足利市で行われたフットソフトボールでは、須田光瑠さん(谷浅見)と五月女琢矢さん(興野)が出場し、見事３位入賞を果たしました。

佳子内親王殿下　承子女王殿下　が本市にお越しになりました

◀島崎観光協会長から説明を受けられる佳子内親王殿下

佳子内親王殿下が山あげ会館をご視察

佳子内親王殿下が10月11日(火)、山あげ会館をご視察されました。同日宇都宮市で行われた「いちご一会とちぎ国体」の総合閉会式にご出席されたのち、山あげ会館に到着された佳子内親王殿下は、会場に集まった市民のもとへ出向かれ、笑顔で手を振られていました。その後は、島崎健一市観光協会長の案内で、館内の山あげ祭の大屋台や山あげ祭のミニチュア劇をご覧になりました。

◀アーチェリー競技を観戦される承子女王殿下

承子女王殿下が国体のアーチェリー競技をご観戦

「いちご一会とちぎ国体」の２日目となった10月９日(日)、承子女王殿下が緑地運動公園にお越しになり、アーチェリー競技を観戦されました。承子女王殿下は、(公社)全日本アーチェリー連盟の穂苅美奈子理事長から説明を受けられながら成年男子と成年女子のセミファイナルの試合を熱心にご覧になりました。

◀瑞宝単光章を受章した佐藤さん

危険業務従事者叙勲
佐藤さんに瑞宝単光章

佐藤幸一さん（田野倉）が、消防功労で瑞宝単光章を受章しました。けがや病気の人を助けたいと、昭和47年に南那須地区広域行政事務組合消防本部に入庁した佐藤さん。定年退職するまで36年間、火災や救急などを担当する警防課一筋で勤め上げました。「『人の命と財産を守る』という強い意志があったため、この仕事を続けられた。職場の仲間の支えも大きかった」と当時を振り返ります。

受章について佐藤さんは、「一言では表せない嬉しさ。定年まで勤務できて良かったと改めて実感した」と喜びをかみしめました。

◀平和を願い白菊を献花する参加者

１５６１柱の英霊を追悼
戦没者追悼式で平和願う

日清・日露戦争から第二次世界大戦までの戦火で尊い命を失った戦没者を追悼する「戦没者追悼式」が、10月28日（金）、南那須公民館で開かれ、92人が参列し、黙とうを捧げました。

追悼式では、川俣純子市長が式辞を述べたほか、鈴木定男市遺族会長と渋井由放市議会議長（代理：滝口貴史市議）が追悼の言葉を述べました。また、当日は献花も行われ、主催者や来賓のほか、遺族会員49人が１５６１柱の英霊に平和を願い白菊を捧げました。

運動と食事で健康寿命を伸ばそう！
市民がロコモ対策を学ぶ

11月１日（火）、「ロコモティブシンドローム対策講演会」が南那須公民館で開かれ、市民など98人が参加しました。これは、市と包括連携協定を結ぶ大塚製薬（株）が県や医療機関、スポーツチームである（株）栃木ブレックスと協働し、ロコモティブシンドロームの予防・啓発を目的に活動しているもので、本市では初の開催となりました。ロコモティブシンドロームとは、筋肉や骨などの運動器に障害が起こり、立ったり歩いたりする機能が低下している状態のことで、介護が必要となってしまう原因の１つと言われています。当日は、自治医科大学整形外科准教授の井上泰一医師が運動について、ピノキオ薬局の尾形沙希管理栄養士が栄養について講話したほか、大塚製薬（株）と（株）栃木ブレックス提供の運動に関する動画も上映され、参加者は動画に合わせて体を動かしていました。

参加した束原節子さん（城東）は、「運動の大切さを実感した。今日知った栄養の合言葉を意識しながら食事作りをしていきたい」と話しました。

上：井上医師による運動に関する講演
下：動画に合わせて体を動かす参加者

昨年を上回る大盛況
第２回メグロキャノンボール

「メグロキャノンボール那須烏山」が11月６日(日)に山あげ会館で開催されました。今年の５月には復刻版メグロＫ３の看板が設置されたこともあって昨年を上回る約７５０人が集まり、メグロのバイクも82台が集結。好天にも恵まれた会場は多くのバイク愛好家たちでにぎわいました。

今回は70年前に烏山工場で製造されたメグロのバイクのお披露目やレストア宣言のほか、カワサキモータース社員との対談、輪投げなどの子ども向け企画もあり、家族連れも笑顔を見せていました。式典の最後には今年も市内数十キロを周遊するパレードが行われ、発着点の山あげ会館から続く沿道にはたくさんの人がパレードの見学に集まり、催しは大盛況でした。

メグロキャノンボール実行委員長の山田佳之さんは、「昨年は小規模なファンの集いだったのに対し、今年は観光の目玉になった。この催しが３年、５年と定着して継続できるようにしたい」と今後の展望について語りました。

※レストアとは、動かなくなったバイクを修理すること

上：参加者の記念撮影の様子
下：パレードに出発する参加者ら

本市から３種目４人が
「ねんりんピック」に出場

「ねんりんピックとちぎ２０２２」で、剣道、グラウンド・ゴルフ、サッカーの３種目で市民４人が優秀な成績を収め、11月12日(土)～15日(火)に神奈川県で開かれた「ねんりんピックかながわ」に出場しました。今回は、大会前に取材した意気込みを紹介します。

■剣道

【65歳以上の部】

小田弘さん(旭２丁目)　県予選：第１位

「監督の役割を果たしながら、前大会のリベンジを目指し、決勝トーナメントまで勝ち進みたい」

【70歳以上の部】

黒須清さん(田野倉)　県予選：第１位

「優勝目指して、楽しみながら勝負してきたい。また、他県の選手との親睦も深めたい」

■グラウンド・ゴルフ

栗田昊志さん(滝田)　県予選：第３位

「平常心で臨み、ホールインワンを決めたい。全国の選手に那須烏山市のことも宣伝してきたい」

■サッカー

大森則行さん(小木須)　県予選：第１位

「サッカーは、チームの結束力が重要。他県のレベルは高いが、チーム最年少としてベストを尽くしたい」

◀剣道の小田さん(右)、黒須さん(左)

◀グラウンド・ゴルフの栗田さん

◀サッカーの大森さん

「山あげ」題材の力作続々
俳句大会・フォトコンテスト

那須烏山市山あげ俳句全国大会実行委員会（鈴木美江子実行委員長）は、「山あげを夏の季語に宣言記念大会」の結果を10月27日（木）に川俣純子市長へ報告しました。今大会では８００句を超える作品の中から、川勾幸子さん（下野市）の「昼は日へ夜は月へと山あがる」が山あげ俳句大賞に選ばれました。入賞作品は、市ホームページで公開されています。上位入賞者は次のとおりです。（山あげ俳句大賞除く、敬称略）

◇特選：田中和夫（大田原市）、橋本由紀子（南２丁目）、斎藤穂（下境）

11月２日（水）には、３年ぶりに開催された「山あげ祭フォトコンテスト」の審査会が開かれ、135点の応募作品の中から橋本梨沙さん（埼玉県杉戸町）の作品「大山無事あがる」が最優秀賞に選ばれました。これらの作品は３月まで山あげ会館２階展示室にて展示されています。上位入賞者は次のとおりです。（最優秀賞除く、敬称略）

◇特選：草信純雅（埼玉県さいたま市）、佐川栄治（那須塩原市）　◇準特選：中根英治（埼玉県久喜市）、王雅妤（神奈川県横浜市）、沢村修（北海道札幌市）

▲山あげ俳句全国大会の結果を川俣市長（右）に報告する鈴木実行委員長（中央）と平塚委員（左）

◀山あげフォトコンテストで最優秀賞に選ばれた橋本さんの「大山無事あがる」

◀体験会で梨を収穫する参加者

梨農家を目指す４人が
「にっこり」の収穫を体験

南那須地域新規就農者支援対策協議会は、10月16日（日）、梨農家を目指す人向けに農作業体験会と就農相談会を開催しました。当日は、県内から４人の就農希望者が参加し、ＪＡなす南の梨部会研究部員から「にっこり」の収穫と出荷方法について指導を受けました。体験会では、梨を傷つけないように慎重に収穫する参加者の姿が見られました。

栃木県農業大学校１年生で、果樹専攻の渡邊渉さんは、「新規就農には不安が多くあるが、体験会をとおして少し解消できた」と話していました。

◀除草作業に取り組む社員ら

憩いの場所づくりを目指して
栃木トヨタ自動車（株）が森林整備

栃木トヨタ自動車（株）（新井孝則社長）が、県の「企業等の森づくり推進事業」である「栃木トヨタの森」の森づくりのため、小原沢の長峰ビジターセンター（休館中）周辺の除草作業を10月24日（月）に行いました。これは、企業が森林の整備活動に取り組むもので、初回となったこの日は社員10人が参加。これから植栽などの整備を進めていく予定です。

平野副社長は、「季節ごとの山の良さを体感できる場所にすることで、お客様や社員だけでなく、地元の皆さんにも楽しんでもらえる憩いの場所になれば」と話していました。

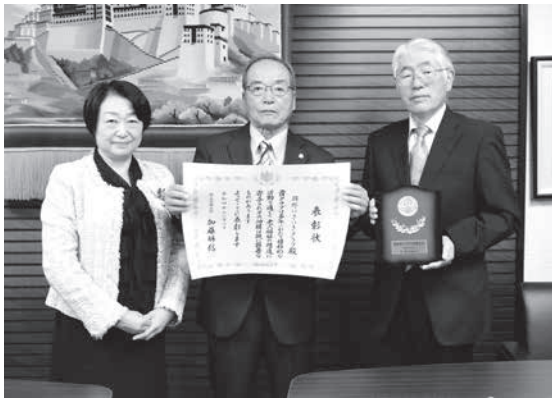
◀交流会の様子

ふるさと烏山会が
市内で交流会を開催

ふるさと烏山会（髙橋達也会長）が11月5日（土）、市内で交流会を開催しました。この会は、昭和63年に旧烏山町出身者で設立された同郷会で、市出身者や縁故関係者が会員となっています。今年、3年ぶりに交流会を行い、会員同士、ふるさとの話題やお互いの近況報告などで話に花を咲かせていました。

今年9月から新会長に就任した髙橋さんは、「これからも会の発展のためにできることを考えていきたい」と話していました。

■問合　同会事務局（まちづくり課）☎0287-83-1151



◀左から、川俣市長、阿相代表、樋山社会福祉協議会長

興野いきいきクラブが
全国老人クラブ大会で大臣表彰

興野いきいきクラブ（阿相孝一代表）が11月8日（火）に東京都で開かれた全国老人クラブ大会で、厚生労働大臣から優良単位クラブ表彰を受けました。これは、社会奉仕活動などで顕著な功績があった結成15年以上のクラブに贈られるもの。138名が在籍する同クラブでは、各シルバースポーツのほかにも絵手紙など様々な趣味の活動も行っています。

11月15日（火）に川俣純子市長に報告に訪れた阿相代表は、「このような賞をいただけて光栄。この賞に恥じないように、地域のクラブの活性化を目指して頑張りたい」話していました。

◀入江さん

入江ナミ子さん
100歳おめでとうございます

入江ナミ子さん（大里）が10月25日（火）に満100歳の誕生日を迎え、市から記念品が贈られました。身の回りのことはほとんど自分でできるという入江さんは、以前は看護師として診療所などに勤めていたほか、シルバー大学に通っていた経験もあります。また、40年ほど前から毎日欠かさず日記をつけているそうで、県外に住むお孫さんとの文通を楽しんでいます。

100歳を迎えうれしいと話す入江さん。「くよくよせず、家族などみんなに感謝すること」が長生きの秘訣と教えてくれました。

◀大勢の人が立ち寄った農産物の販売

テーマは「地域共生の未来づくり」
4年ぶりにJAまつり開催

11月5日（土）と6日（日）にJAなす南本店で第24回JAまつりが開催され、多くの地域住民が訪れました。

会場では、農産物の品評会や販売のほか、コシヒカリや和牛肉・豚肉の消費拡大コーナー、みんなのよい食プロジェクトのクイズコーナーなど数多くのブースが並びました。また、ステージでは、恒例となった梨の皮むき大会やチアダンスパフォーマンス、地元出身の歌手による歌謡ショーなどが行われ、会場は盛り上がりを見せました。

家庭科でそば打ち体験
烏山高生が八溝そばを学ぶ

11月10日(木)から３回にわたり、県立烏山高校の３年生10人が城東の「そば夢サロン梁山泊」で、そば打ちを学びました。

これは、市の特産である「八溝そば」を通じた地域の食文化や伝統の学習を目的に「応用家庭」の授業の一環として行われているもの。３回目となった11月24日(木)には、生徒９人が参加し、同店の廣木克臣さんらの指導のもと、そば粉の計量やそば粉全体に水を行き渡らせる「水回し」、練り、生地を伸ばしそば切り包丁で切る作業など、そば打ちの一通りの流れを体験しました。その後生徒は、廣木さんが打ったそばを試食。「おいしい」と口いっぱいに頬張っていました。また、生徒自身が打ったそばは持ち帰り、自宅で家族などに振舞ったようです。

池尻蒼太さん(志鳥)は、「生地を伸ばすときに厚さを均等にすることが難しかったが、１回目より上手にできたと思う。そばが好きなので、自分で打つことができて良かった」と話していました。

上：廣木さんから生地の伸ばし方を学ぶ生徒
下：打ち立てのそばを頬張る様子

特別支援学校ってどんなところ？
～みんなで祝う「創立40周年記念式典」～

南那須特別支援学校が今年度創立40周年を迎えたことから、11月２日(水)に記念式典を行いました。コロナ対策のため、会場内の人数を制限し、各教室においてオンラインでの開催としました。

準備の段階から「みんなで学校の誕生日を祝おう」と、小学部生は、笑顔の原画を描いてクリアファイルを作成し、中学部・高等部生は、さをり織りマットやマグネット(木工、陶芸、園芸、紙工)などを作成して関係者への記念品としました。また、ステージ中央の「創立40周年記念式典」の題字は、全児童・生徒が貼り絵で作ったほか、式典中の「児童生徒のセレモニー」では、本校で踊り継がれてきた「負けないで」のダンスをクラスごとに撮影し、１本の動画に編集して披露しました。

当日は、県教委や三森文徳県議会議員、川俣純子市長が来賓として参加したほか、今まで本校教育に貢献された皆さんに、実行委員長である中原ＰＴＡ会長から感謝状が贈られました。本校が創立40周年を迎えられたのも、地域の皆さんに温かく見守っていただいているお陰と感謝しています。今後も変わらぬご理解とご支援をお願いします。

主幹教諭　　戸村友美枝

上：児童・生徒が作成した記念品
下：式典の様子

ワーク・ライフ・バランス推進企業紹介

リンレイテープ(株)栃木工場・江川工場

今年度から始まった「市ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」。今年度は５社の企業が認定されました。

認定番号第１号のリンレイテープ(株)は、藤田地区と志鳥地区に工場を構え、従業員数84名（男性57名女性27名）で各種粘着テープを製造している企業です。

企業全体で有給休暇取得を積極的に推進しており、令和３年の平均取得率は79％でした。そのほか、２時間単位で有給休暇を取得できる制度の導入や小学３年生まで育児短時間勤務可能とするなど、仕事とプライベートの両立に力を入れています。

定期的に業務の効率化や問題の洗い出しのため各部門長がミーティングを行い、専門的知見やアイデアを持ち寄ることで、業務の偏りの解消や省力機械の導入などに努めています。工場長も含め工場全体で毎朝15分の清掃活動を行い、雑務の負担を平準化しつつ、情報交換を行っています。地元小学生の社会科見学や高校生の職場実習を多く受け入れ、地域活動にも積極的な企業です。

上：川俣市長と佐藤恒工場長
下：富士見台工業団地内の栃木工場

はっぴ～♥子育てインフォ

子育て広場の紹介

市では、子育ての不安感などを緩和し、子どもたちの健やかな育ちを支援するため、子育て支援拠点として「こども館」と「子育て支援センターきらきら」の2か所を開設しています。各施設では、子育て支援員を配置し、親子遊びのお手伝いのほか、親子で楽しめる事業を行っています。乳・幼児向けのおもちゃもたくさんありますので、気軽にお越しください。

■こども館（南1-562-12）　☎0287-80-0281

【開館日時】火～日曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後4時30分

【主な事業】講師事業（音を鳴らして遊ぼう、親子ヨガなど）、ぴよぴよ広場（季節の手遊び、親子体操、週替わりの遊び）、季節の制作

■子育て支援センターきらきら（にこにこ保育園内）

☎0287-88-5151（事前に予約が必要です）

【開設日時】月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～正午、午後1時30分～4時

【主な事業】季節の制作、講師事業（きらきら子育て講座）、子育て相談

上：こども館
下：子育て支援センターきらきら

まちかど＊リポート

カップ入りのいちごショートケーキを作る大田原さん

食べてくれる人を１番に想って
パティシエ　大田原　真さん

１つひとつ丁寧にスイーツを作り上げる

プロフィール

■住　所：興野
■出身地：北海道
■趣　味：書道、釣り

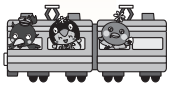
大田原さんは、県内外のホテルなどで勤務した経験を活かしながら、市内の直売所などを拠点に、中山かぼちゃを使ったシフォンケーキや卵にこだわったプリンなど、市の特産物や旬の食材を使ったスイーツを作っています。「スイーツは、食べてくれる人のために作るもの。職人としてのプライド以上にお客さん目線を持つことやお客さんの手に届くまでのプロセスが大切」と力強く語ります。

平成22年に市内に移り住んだ大田原さん。山の風景や清流が美しく、気候も安定していて住みやすいと感じたそうです。「とてもきれいなまちなのに、その良さに気づかないともったいない。今あるものを活かして、地域の良さをどんどんアピールして人を引き込めば、地域全体がもっと元気になるのでは」と話します。

現在、ジャージー乳を使ったプリンやこだわりぬいたチーズケーキなど新メニューの開発にも取り組んでいるそうで、「この仕事は大変なことも多いが、続けているのは人とのつながりが生まれるから。人生は、前向きになったときに良いことが起こる」と明るい表情を見せる大田原さん。溢れるアイデアと培った経験、そして紡がれた人との縁が融合して、地元で愛されるスイーツが生まれています。

あなたのとっておきエピソードをお待ちしています！
詳細は、市ホームページをご確認ください。
■問合　まちづくり課地域づくりグループ
☎０２８７－８３－１１５１
Eメール：machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

JR烏山線全線開業100周年事業
「からせん」の思い出



ＪＲ烏山線が令和５年４月に全線開業１００周年を迎えることを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

舩橋登美治さん（興野）からの思い出の写真

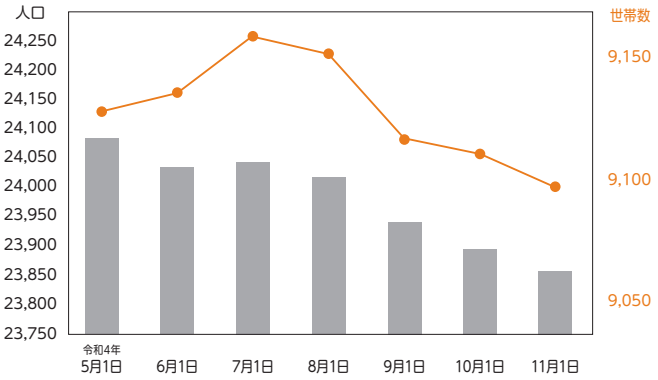
烏山線と山々

いつもの最終便

キハとひまわり畑

市の人口

令和4年11月1日現在



人口 23,854(-42)

男	11,863	女	11,991
出生	6	死亡	38
転入	43	転出	53

世帯数 9,095

※( )対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。

おめでた

赤ちゃん名（保護者）住所

平野安希子（達朗・良枝）初音
金澤柚葉（雅樹・佳澄）南大和久
三森十斗（泰斗・友美）中央2丁目
五味渕結月（篤・美里）興野
田口心結（浩史・礼乃）鴻野山
矢板藍（隆史・由貴）粟2丁目

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

受賞 おめでとうございます

●令和4年度県子どもの人権絵画コンテスト

▽優秀賞：川俣瑠菜（境小6年）▽優良賞：吉成雫（荒川小4年）、阿久津閏音（江川小5年）、久郷玲皇（荒川小6年）

●令和4年度食育推進啓発事業 絵画・ポスターコンクール

▽優秀賞：岡ティアナ京（江川小5年）

●第32回県中学校英語スピーチコンテスト

▽優良賞：クルスキ梨良（烏山中3年）

ご寄附 ありがとうございます

■ふるさと応援寄附金

中山成一様（宇都宮市）から12万円、岸田こずえ様（神奈川県川崎市）から4万3千円、磯三男様（神奈川県相模原市）から1万円、西浦嵩弥様（大阪府大阪市）から5千円、匿名希望者46人から合計50万2千円が本市に寄附されました。

■企業版ふるさと応援寄附金

リンレイテープ（株）様（東京都中央区）から100万円が本市に寄附されました。防草研究会様（愛知県名古屋市）から寄附をいただきました。

スポーツの結果

●第17回市秋季市民ソフトテニス大会（10月23日㈰、烏山運動公園）

【一般】▽優勝：平野颯久・平野寛和▽準優勝：川面正男・永島千豊▽第3位：大野雅幸・川面淳也

【シニア】▽優勝：澤村絹代・姿和男▽準優勝：秋元隆夫・今井利通▽第3位：大野孝夫・大手枝美子

【グランドシニア】▽優勝：青木とみ子・平野幸子▽準優勝：坂主慶子・今井保二▽第3位：滝田史恵・永井美津子

●第45回市民ナイターソフトボール選手権大会（10月12日㈬、13日㈭、14日㈮、20日㈭、21日㈮、烏山運動公園）

▽優勝：あたごヤングマン▽準優勝：やまびこクラブ

令和4年度 コミュニティ助成事業報告

（一財）自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、集会施設やコミュニティ活動備品の整備に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための「コミュニティ助成事業」を行っています。

コミュニティ助成事業のメニューのうち「一般コミュニティ助成事業」を活用し、次の団体がコミュニティ活動に係る諸整備などを行いました。

・仲町自治会：山あげ祭用浴衣および半纏の新調

■問合　まちづくり課　☎0287－83－1151

編集後記

今月は、「おせち」を特集しました！調べてみると、おせち料理には一つひとつに意味があり、地域によって食べるものが違うなど初めて知ることばかり。来年のお正月は、他の地域のおせちを食べてみるなど、いつもと違うおせちを楽しむのも良いかもしれませんね❀

特集で紹介している先生直伝のレシピは、簡単に作れてとっても美味しいので、ぜひ、挑戦してみてはいかがでしょうか。

さて、2022年も残りわずか。今年もたくさんの方に取材でお会いできて、楽しく充実した1年を過ごすことができました。お世話になった方々、ありがとうございました☺

それでは皆さん、良いお年を～！

新着図書

南那須図書館　☎0287-88-2748　Fax88-0804
烏山図書館　☎0287-82-3062　Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 https://lib-nasukarasuyama.jp/

◆一般図書◆

◇『ヒトゴトにしない社会へ』　アノニマ　スタジオ
◇『アザラシ語入門』　水口　大輔
◇『パンダが日本にやってきた！』　日本パンダ保護協会
◇『世界の装飾が美しい店』　パイインターナショナル
◇『さつまいものお菓子』　若山　曜子
◇『幾千年の声を聞く』　青羽　悠
◇『太陽諸島』　多和田　葉子
◇『野原』　ローベルト　ゼーターラー

◆児童図書◆

◇『屋根のうえのバトンリレー』　横塚　眞己人
◇『タンポポのたんけん』おくやま　ひさし
◇『保護ねこ活動ねこかつ！』　高橋　うらら
◇『いぬのにっちゃんあきとふゆ』　あきくさ　あい
◇『いのちがかえっていくところ』　最上　一平
◇『かるがものクッカ』　箕輪　義隆

◆CD◆

◇『純烈ベスト　Vol.3　2018－2021』　純烈
◇『Highway　X』　B'z
◇『癒しのチェロ　～ジブリ・ベスト』　林　はるか
◇『令和最新版大河ドラマ全曲集1963-2022』　冨田　勲ほか
◇『ウタの歌　ONE　PIECE　FILM　RED』　Ado
◇『朗読喫茶　噺の籠「銀河鉄道の夜」ほか』　斉藤　壮馬ほか

文芸コーナー

俳句

水野　信一　選

秋耕のひとりに広き田畑かな　渡辺　節子（大金）
啄木鳥や森懐に那須神社　石川　利之（興野）
靄去りて小田代ヶ原草紅葉　坂本　蓉子（大金）
早朝のミサイル騒ぎ文化の日　須田　孝子（城東）

川柳

篠﨑　酔月　選

女王忌に英国民の涙雨　小堀　翠泉（中央）
おはようと母の味噌汁風に乗る　五月女佳子（谷浅見）
台風の降っては止んでゲリラ雨　荻野目香津（中央）
花曇り幻想的に映し出す　川上美智男（大里）

短歌

滝口　節子　選

長生きをしてとの葉書手に取りて鏡に向かふ古希の我なり　塩野目洋子（初音）
畑にていつものように空仰ぎ夕焼け雲に酔いしれる今日も　水上キヨ子（志鳥）
宇都宮着の電車が遅れても待っててくれる烏山線　柳　つしま（中央）
「でんしゃのる！」ただそれだけを目的に烏山駅までを往復　小池　千秋（小倉）

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ（〒321－0692 那須烏山市中央1丁目1番1号）あて、郵送で作品をご応募ください。

広告掲載募集中

市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。掲載基準などの詳細は、市ホームページで確認するか、下記あてお問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ
☎0287－83－1112

「マイナンバーカード」もう作りましたか？

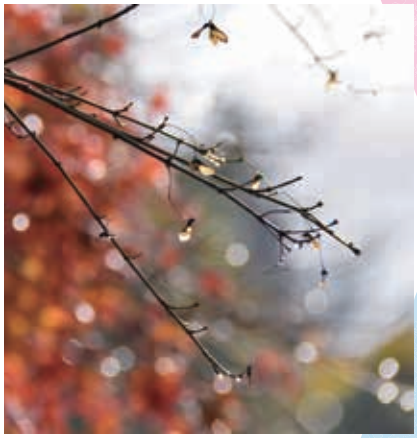
最大20,000円分のマイナポイントがもらえるマイナンバーカードの申請期限は**12月末日！！**
急いで申請しましょう！！
【問合先】　市民課　☎0287－83－1116

みんなの自慢の1枚

市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真（中学生以下）、市内のイチオシ風景や穴場スポットの写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真（珍百景）など、気軽にご応募ください。
応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前（氏名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載）、③写真のタイトル、④写真について一言（50字程度）記載してください。
■問合　総合政策課広報広聴グループ
Eメール：sohgohseisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp

「大平寺の秋」
ネコのしっぽさん
龍門カフェにベーグルを買いに行ったところ、龍門橋を渡るとすぐに色鮮やかな大平寺の紅葉が目に入り、ベーグルと紅葉狩りを楽しみました。

「実りの秋」
ちゃちゃさん
りんご狩りに行ってきました。甘くて蜜たっぷり。秋の味覚を満喫できました。



「晩秋のイルミネーション」
餃子耳（小）さん
雨後の椛に、去りゆく秋と冬の訪れを感じました。

投票に行こう！ 選挙啓発ポスター表彰式

（公財）明るい選挙推進協議会が主催する「明るい選挙啓発ポスターコンクール」に併せ、選挙啓発の一環で市独自の賞を設けた表彰式が初めて10月23日（日）に烏山公民館で行われました。来年も多くの作品の応募をお待ちしています。
以下、受賞者と選挙管理委員の皆さんのコメントです。

【受賞者】

■佐竹委員長賞　小﨑斗稀さん（七合小4年）
小﨑さん　「楽しんで描けた。みんな投票に行ってほしい」
佐竹委員長「工夫して描かれている。投票を棄権しないようにしてほしい」

■久郷委員賞　手塚茜音さん（江川小2年）
手塚さん　「18歳になったら選挙に行きたい」
久郷委員　「18歳になったら必ず選挙に行ってほしい。約束です」

■星宮委員賞　佐藤凪紗さん（境小6年）
佐藤さん　「ポスターを見て、みんなが選挙に行ってくれると良いなと思った」
星宮委員　「ぜひ若い人たちの明るい未来のために選挙に行ってほしい」

■小堀委員賞　髙根沢珠莉さん（烏山中3年）
髙根沢さん「18歳から成人なので、高校生から選挙に行くようにしてほしい」
小堀委員　「言葉が魅力的であり、ポスターから若いエネルギーが伝わる」

小﨑さんの作品

受賞者と選挙管理委員の皆さん

手塚さんの作品

佐藤さんの作品

髙根沢さんの作品

有料広告
医療共済 メディフル
Point その1 1日入院で治療共済金30万円が受け取れます ※1
Point その2 一生涯保障や先進医療保障など、自由に設計できます
※1 治療共済金額30万円の場合
JAなす南本店 共済課 96-6165
●南那須支店 88-7121 ●烏山支店 83-2111
●馬　頭支店 92-2711 ●小川支店 96-2131
JA共済
22096010221
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。ご契約に際しては、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

編集 那須烏山市総合政策課
〒321-0692 栃木県那須烏山市中央1丁目1番1号
☎0287-83-1112

UD FONT by MORISAWA
「QR」コードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。